

希望の光

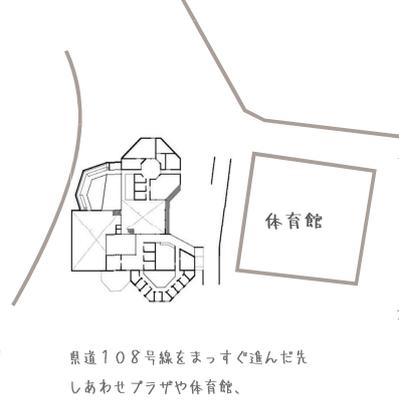
—光は人に活力を与え、影は人に安心を与え—
この建物は、その二つの力を人の暮らしの中で丁寧に
使い分けることで、高齢者や地域の方々に安心と希望を
届ける場所とした。



案内図 配置図 問題提起



計画地 場所 茨城県ひたちなか市那珂湊鍛冶屋敷
地域等 第一種低層住居専用地域



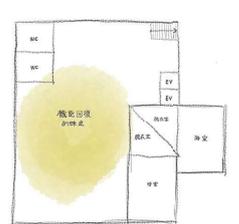
県道108号線をまっすぐ進んだ先
しあわせプラザや体育館、
那珂湊コミュニティセンターなど
地域施設の集まるゾーンに位置する



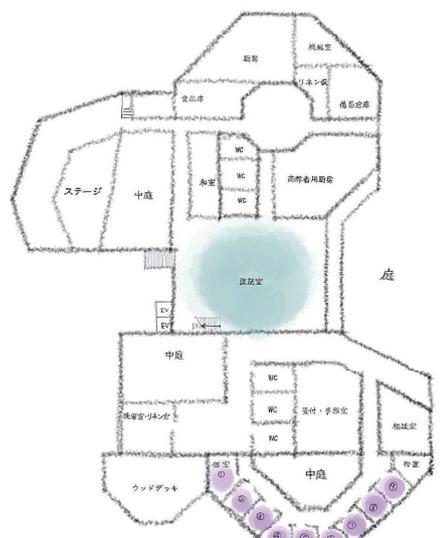
日常の充実と非常時の機能を両立させた福祉拠点とする

非常時ゾーニング

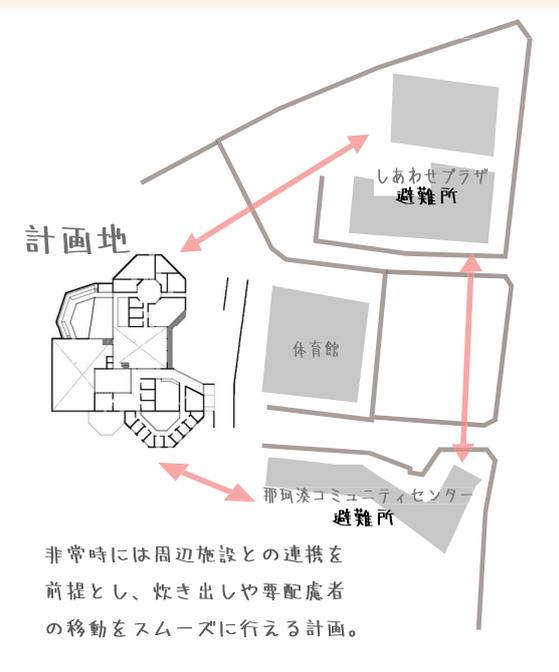
- 高齢者スペース**
身体負荷の少ない動線を確保できる
機能回復訓練室は高齢者
- 障がい者スペース**
音・光などの環境調整がしやすい
談話室は障がい者
- 幼児・妊婦スペース**
ケアがしやすく安心して過ごせる
宿泊部屋は幼児・妊婦



地下1階平面図

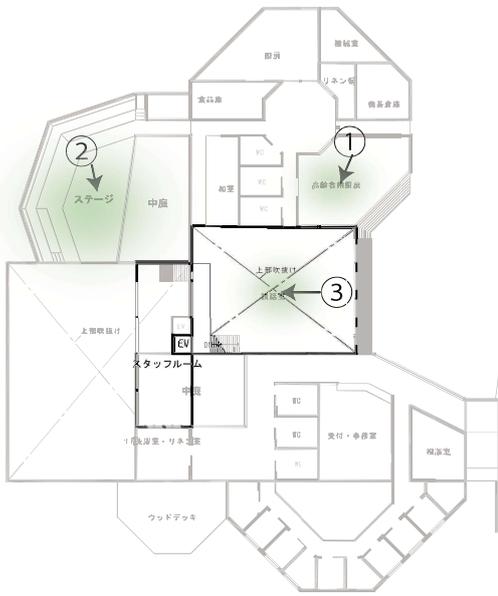


1階平面図



非常時には周辺施設との連携を前提とし、炊き出しや要配慮者の移動をスムーズに行える計画。

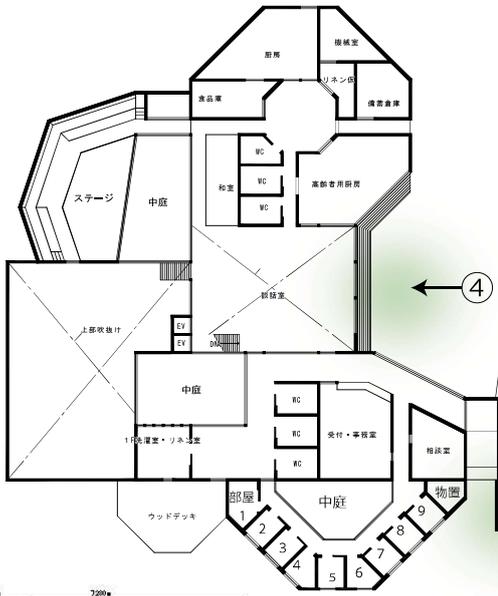
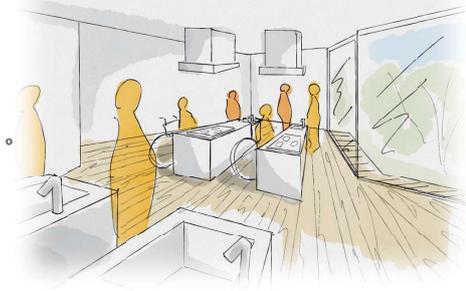
平面図



2階平面図 1/300

① 高齢者用厨房

中庭の菜園で育てた食材で調理ができる。「育てる・調理する・味わう」をすべて行える環境。



1階平面図 1/300

③ 談話室

吹き抜けと大きな開口部によって明るさを確保している。上階にはスタッフルームを配置し、空間全体を見渡せる。



② ステージ

機能回復訓練室と緩やかにつながる、スロープ途中に設けた交流の場。利用者が楽しみながら参加でき、自然とコミュニケーションが生まれる空間となる。



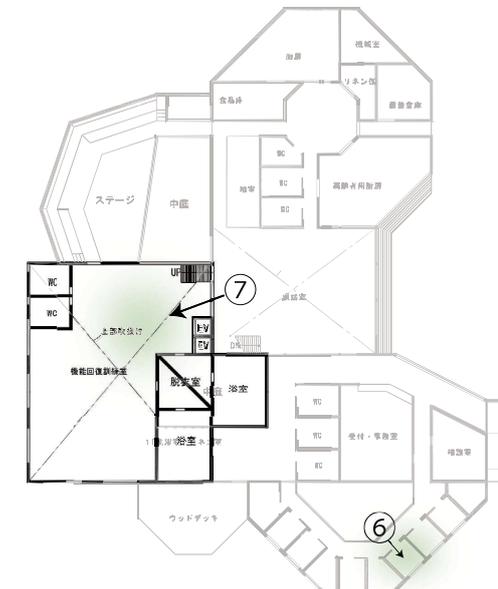
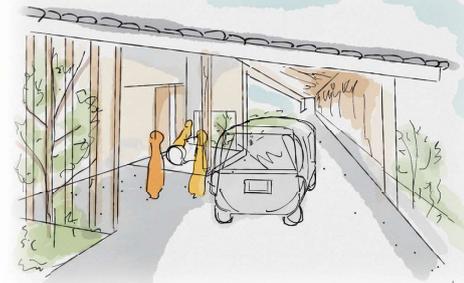
④ 中庭

菜園での軽作業や植物の育成は、日常のリハビリや心の落ち着きにつながり、ウッドデッキは日向ぼっこ、交流、小休憩など多目的に活用できる。



⑤ 玄関入口

外と内をつなぐゆとりある迎いの場。屋根付きのアプローチにより雨天時も安心して出入りできる。



地下1階平面図 1/300

⑥ 宿泊スペース

全室個室とすることで、日常の滞在だけでなく、非常時にも落ち着いて過ごせる安全な環境。



⑦ 機能回復訓練室

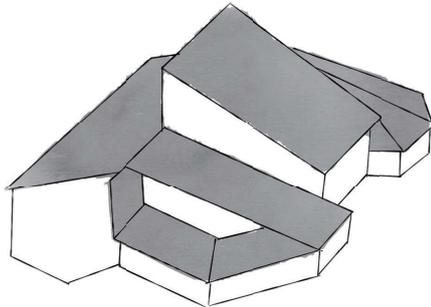
地形を活かした地下フロア。歩行訓練、軽運動など多様なプログラムに対応できる広さと柔軟性を備え、利用者一人ひとりのペースを尊重。



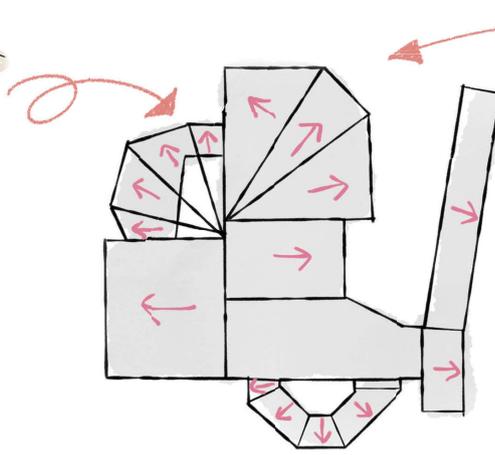
屋根



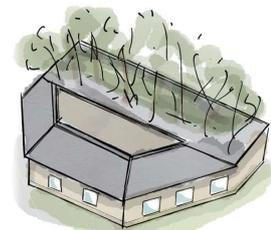
空の明るさをそのまま屋内へ。
半屋外的な空間が生まれる。



イメージ図



屋根の一部を大胆に開くことで、
北側からも安定した自然光を室内奥
まで届けている。



上部を緑化することで直射日光を和らげ、
建物全体の熱環境を安定させている。

立・断面図



南立面図 1/400



東立面図 1/400



南断面図 1/400



東断面図 1/400

建築概要

| | |
|---------|--------------------------|
| 敷地面積 | 4,971.231 m ² |
| 建築面積 | 1753.819 m ² |
| 延床面積 | 1960.536 m ² |
| 1階床面積 | 1401.564 m ² |
| 2階床面積 | 110.382 m ² |
| 地下1階床面積 | 448.590 m ² |
| 構造 | 木造 |

模型

